

Technical Service Data Sheet

鉄鋼用 脱脂および脱サビ剤(酸性)

エスクリーン W-2550

S-CLEAN W-2550

エスクリーンW-2550は、酸性タイプの鉄鋼用脱脂・脱錆剤です。

<特長>

- ① 一液で脱脂と脱錆を同時に、かつ短時間で行うことができます。
- ② 揮発性の酸を含まないため、酸性ガスの発生がありません。

<性状>

無色または淡黄色酸性液体

<使用方法>

建浴 : エスクリーン W-2550 1容量
水 9容量

温度 : 75~85℃

<処理条件>

| | 建浴時基準濃度 | 処理中の条件範囲 |
|------|---------|------------|
| 希釈濃度 | 10 容量% | 5~15 容量% |
| 全酸度 | 20 ポイント | 10~30 ポイント |
| 処理温度 | 80 °C | 75~85 °C |
| 処理時間 | 5 分 | 2~10 分 |

※処理時間は、油脂付着量や発錆の状態により異なります。



佐々木化学薬品株式会社

京都市山科区勸修寺西北出町 10
TEL (075)581-9141 FAX (075)593-9784
支店：滋賀・鹿児島 営業所：東大阪

Technical Service Data Sheet

<処理液の試験方法>

エスクリンW-2550は、全酸度、鉄イオン含有度を測定することによって、処理液の劣化を確認することができます。

・ 全酸度の測定方法

処理液1MLをピペットで200ML三角フラスコに採り、純水を50～60ML加えます。次に指示薬(フェノールフタレイン溶液)を数滴加え、1/10mol/L-水酸化ナトリウム溶液で中和滴定を行います。液がピンク色に変わる点を終点とし、この時に要した滴定のML数をポイント数として全酸度とします。

・ 鉄イオン含有度の測定方法

処理液1MLをピペットで200ML三角フラスコに採り、純水を50～60ML加えます。次に50%硫酸を数滴加えたのち、1/10mol/L-過マンガン酸カリウム溶液で滴定を行います。液の色が淡紅色を呈した時を終点とし、この時に要した滴定のML数をポイント数として鉄イオン含有度とします。

<処理液の再調整>

・ 全酸度の再調整方法

エスクリンW-2550は通常、全酸度ポイントを10～30に維持して使用しますが、脱脂、脱錆処理を続けることで、ポイントが低下します。

ポイントが低下した場合は、下記の式によってエスクリンW-2550の補給を行い、処理能力を回復させることができます。

$$\text{補給量(L)} = 5.5 \times \text{上昇すべきポイント数} \times \text{処理液総量(t)}$$

但し、鉄イオン含有度が一定以上(全酸度:鉄イオン含有度=4:1以上)になると、補給を繰り返して全酸度が条件範囲内であっても処理能力が低下し、処理時間が長くなります。

このような場合は、補給するよりも、処理液を更新する方が効果的です。

<廃液処理>

- ・ 廃液の処理は、許可を得た産業廃棄物処理業者に委託して下さい。尚、廃液は強酸性ですので、特別管理産業廃棄物(廃酸)に該当します。
- ・ 処理を行う場合は、廃液を水で10倍以上に希釈したのち、水酸化カルシウムで中和処理を行い、ろ過分別して下さい。上澄み液はpH5.8～8.6に調整しBOD、CODを考慮して放流して下さい。
- ・ スラッジは産業廃棄物業者に委託して下さい。

<取扱い上の注意>

- ・ 高温で使用するとミストが発生することがありますので、取扱い時は排気装置を使用して下さい。
- ・ 使用液は酸性ですので、ご使用時には保護眼鏡、保護手袋、防塵マスク等の適切な保具を着用し、眼・皮膚への接触および蒸気を吸入しない様にして下さい。
- ・ 保管時には必ず密栓をして直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管して下さい。
- ・ 本品は「医薬用外劇物」に該当します。(硫酸 15～20%含有)

<荷 姿>

エスクリン W-2550

20kg

ポリ容器



佐々木化学薬品株式会社

2017年9月 発行

京都市山科区勸修寺西北出町10
TEL (075)581-9141 FAX (075)593-9784
支店: 滋賀・鹿児島 営業所: 東大阪